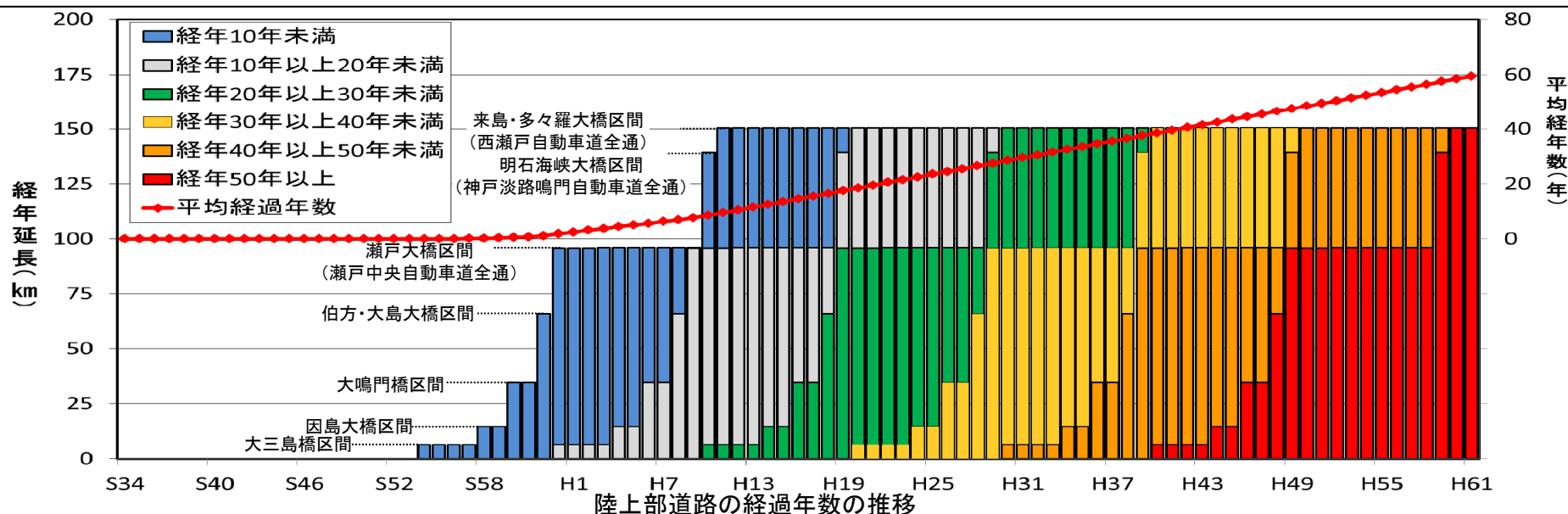


本四高速の大規模修繕計画について

本四高速の大規模修繕計画

- 平成25年度末で、供用後30年以上の供用延長が約1割。
- 本四高速が管理する高速道路は、経過年数の増加とともに老朽化が進展。
- 従来の修繕のみでは、重大な変状に進展し、通行止等が発生するおそれがある。
- このため、重大な変状に進展するおそれのある延長30kmについて、大規模修繕を実施する箇所として選定。



	区分	項目	主な対策	延長 ^{※1}	事業費 ^{※2}
大規模更新	対象なし			—	—
大規模修繕	橋梁	床版・桁	高性能床版防水・表面被覆 など	18km	201億円
	土構造	盛土・切土	水抜きボーリング など	12km	47億円
合計				30km	247億円

※1 上下線別及び連絡等施設を含んだ対策ごとの延べ延長 ※2 端数処理の関係で合計が合わないことがある 1

本四高速の大規模修繕工事の代表事例

○橋梁の例

老朽化の進展、飛来塩分による塩害等により変状が発生した橋梁について、高性能床版防水工、表面被覆等を実施することで、変状の進行や新たな変状の発生を抑制。

〔実施箇所〕

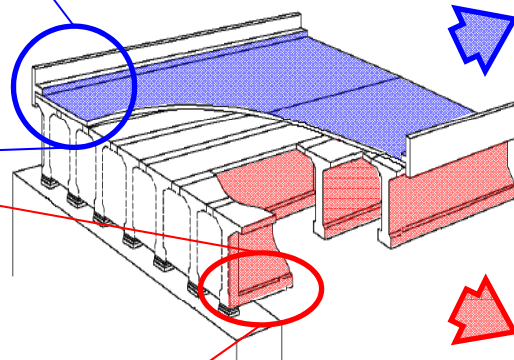
かめうらこうかきょう

神戸淡路鳴門自動車道、亀浦高架橋(徳島県) 【橋長593m、昭和60年6月開通】 など

【現状】



床版:高性能床版防水工
(内在塩分有は脱塩併用)

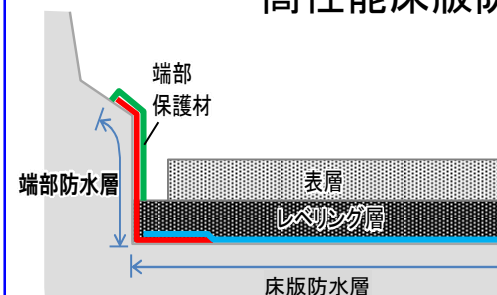


桁:表面被覆(エポキシ樹脂等で塗装)
(内在塩分有は電気防食)



【対策】

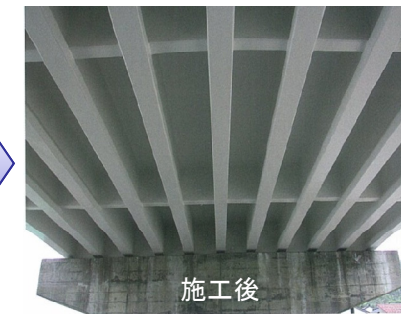
高性能床版防水工



床版防水工概要図



表面被覆



「調査・診断・補修・補強に関する技術紹介及び事例集(日本構造物診断技術協会)」より